

# 平成21年度「読書教育重点校」活動報告 菊池市立七城中学校

## (1) 入りやすく利用しやすい図書室へ



いつでも生徒が足を止めて、気軽にドアを開けてくれるように入り口の案内看には工夫を加え、季節の花や飾りつけをして迎えます。閉館した後も返すことができるように技術担当である教頭先生に返却ボックスを作ってもらい、さらに利用しやすくなりました。



## (2) 朝の読書

学年により異なりますが、毎週月・水・金曜日の朝自習の時間に25分間の「朝の読書」を実施しています。また、各学期の読書週間では、毎日実施することができ、昨年度に比べ読書の時間が増えています。



## (3) 読み聞かせボランティアの活用

昨年に引き続き、毎月1回地域ボランティアグループ「くれよん・くらぶ」の協力のもと、全クラスで絵本の読み聞かせや朗読を実施しています。

### 〈生徒の声〉

- ・中学生になり、本を読むことがあまりなかった私にとって、読み聞かせの時間はとても有意義なものでした。
- ・普段、読むことがなかった本を読むきっかけになりました。
- ・3年生になると勉強が大変になり、本を読むことが少なく、勉強で疲れている3年生にとって読み聞かせはとても楽しい時間でした。
- ・中学生になると自分で絵本を読むこともなくなり、読み聞かせの時間はとても貴重な時間でした。この時間をとおして、絵本の新しい魅力を発見することができました。
- ・一番心に残っているのは、「プロジェクトX」です。ロシアの子どものために一生懸命な大人達の姿に感動しました。



## (4) 委員会によるおはなし会

読書の秋にあわせ、10月に文化委員会によるプロジェクターを使った読み聞かせを行いました。読書の楽しみを少しでも多くの人に味わってもらうために委員会の生徒に選書をしてもらいました。



## (5) 「七城中で読んでおきたい50選」

貸し出しの多くは文学に偏りがちで、いろいろな分野の本に興味関心をもってもらったり、読みたい本が見つからないときの参考にしておうと推薦図書の本子を作成し、配布しました。



実物はこれを折たたみ冊子にします。読んだら各自チェックをいれていきます。

## (6) 「ぼくのわたしの先生のおすすめの本」

4・3月の読書週間では「ぼくのわたしの先生のおすすめの本」を書いてもらい、掲示しています。「書く」ことで物事を深く考え、自分の気持ちを表現し、伝える力もつけていきたいと考えています。昨年度の方は、冊子にしていつでも手に取れるようにしています。

## (7) 図書だよりや掲示

司書や文化委員会からの「図書だより」を随時発したり、図書館前の廊下に新刊案内の掲示をして、図書に関する情報提供と読書推進を図っています。また、読書週間にあわせ委員会で広報用ポスターを作成しました。



## (8) テーマ展示や新聞を活用した展示

毎月、季節にあわせたテーマ展示をしています。10月はハロウィンがあるので「魔法」、11月の校内食育月間では、「いのち」をテーマに紙面でのブックトークを添えたり、話題になった新聞記事を掲示し、関連した本を展示して様々な文章や資料を読む機会をつくっています。



食育月間に「いのち」をテーマに展示し、紙面のブックトークを添えた。



イチロー選手の新記録の新聞を関連本と一緒に展示した。

## (9) 読書活動の成果

20年度と比べ「朝の読書」の時間も増え、毎月の「読み聞かせ」も定着してきており、アンケート結果からも「読書が好き」「読書活動や読み聞かせは楽しい」と答えた生徒が増えています。1ヶ月の読書量も平均3.5冊と増え、「1冊も読まなかった」と答えた生徒は全体の11%と減ってきました。

熊本県教育会館からの補助により、読み聞かせの絵本や希望図書を購入することができ、学校図書館として生徒たちの「読みたい」「知りたい」という気持ちに答えることができたことは図書室の活性化にもつながりました。

